

イノシシに出会ったら



刺激しない

イノシシは本来、臆病でおとなしい動物です。イノシシと出会っても、普通はイノシシが逃げるので慌てる必要はありませんが、興奮していたり、至近距離で突然出会ったりした場合は注意が必要です。イノシシを見かけても刺激せず、興奮させないことが大切です。

静かにその場を離れる

イノシシに出会ったら、静かにその場を離れるようにしましょう。急に走り出してイノシシを興奮させてはいけません。イノシシがこちらに気づいていない時や、イノシシとの距離が十分ある場合は、静かにその場を立ち去りましょう。

ゆっくりと後ずさり

もし、イノシシが近づいてきても、慌てずにゆっくりと後ずさりして離れましょう。また、建物や車などに入ったり、物陰に身を隠す、木に登るなどして、安全を確保しましょう。犬を連れていると、襲ってくる場合があるので、イノシシが向かって来たら犬は放しましょう。

してはいけない行動

- ◇イノシシの進行方向をふさぐ
- ◇大きな声を出す
- ◇急に動く
- ◇棒を振り上げたり、石などを投げる

襲われたら

急所を守る

イノシシは、急所（太ももの内側など）を狙ってきます。体をかがめ、足を閉じて急所を守る防御の姿勢を取りましょう。

反撃はしない

反撃すると攻撃してきます。反撃せず、急所を守りましょう。

出会わないために

早朝や夜間などはイノシシに遭遇する可能性が高くなります。イノシシと出会わないために、人間の存在を知らせる工夫をしましょう。

例えば...

◇音で知らせる（鈴をつけるなど）

◇夜などに外出するときは光で知らせる（懐中電灯など）

家の周りに寄せ付けないために

◇野菜くずや生ごみを屋外に放置しない

◇やぶや草むらをなくす

◇家庭菜園はしっかり柵で囲う

◇ゴミ出しマナーを守る

エサをあげてはいけません

イノシシにエサをあげると、人家周辺で活動するようになります。人になれると、人が持っている食べ物を奪い取ることもするようになります。子供のイノシシでも、エサをあげてはいけません。



こんなときは特に注意

イノシシが以下の状態のときは、興奮しており、大変危険です。このようなときはすぐにイノシシから離れて安全な場所に避難しましょう。

- ▶ 毛を逆立てている
- ▶ 頭を振ったり鼻を鳴らす
- ▶ 歯を鳴らしたり、地面をかく

【お問い合わせ先】千葉県 環境生活部 自然保護課 鳥獣対策班

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 ☎ 043-223-2058 (FAX) 043-225-1630